

科目区分 専門基礎分野

科目名 人体の構造と機能Ⅰ 1単位(30時間)

※実務経験のある教員による授業(非常勤講師)

科目目標: 1. 人体の仕組みを学び、人体の構成について理解する。

2. 消化器の構造と消化吸収について理解する。

3. 骨・関節・筋系の構造と機能、身体の支持と運動について理解する。

開講時期: 1年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
人体について (第1章)	12	人体の構造と機能の基礎を理解する	1. 人体の構造と機能の基礎知識 1) からだの基礎知識 2) 人体とはなにか 3) 細胞とは 4) 構造と機能からみた人体 (1) 構造からみた人体 (2) 機能からみた人体 (3) 体液とホメオスタシス	講義
消化吸収機能 (2章)	8	消化吸収機能について理解する	1. 歯・口腔・咽頭の構造と機能 1) 歯・口腔の構造と機能 2) 咽頭・食道の構造と機能 2. 消化管の構造機能 1) 胃の構造と機能 2) 小腸の構造と機能 3) 大腸の構造と機能 4) 栄養素の消化と吸収 3. 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 1) 膵臓の構造 2) 肝臓・胆嚢の構造 4. 腹膜 1) 腹膜と腸間膜 2) 腹膜と内臓の位置関係 3) 胃周囲の位置関係	講義
骨・筋のはたらき (7章)	10	からだの支持と運動について理解する	1. からだの支持と運動 1) 骨格とは 2) 骨格の構成 3) 骨の連結 4) 筋の収縮機構 5) 筋の収縮	講義

			6) 体幹の関節と運動 7) 頭頸部の骨格・関節と筋 8) 体幹の関節と筋	
評価	筆記試験			
テキスト	専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 人体の構造と機能Ⅱ 1単位(30時間)

※実務経験のある教員による授業(非常勤講師)

科目目標: 1. 呼吸器の構造と機能、血液の働きについて理解する。
2. 循環器系の構造と機能について理解する。
3. 腎臓および内部環境維持・調節のしくみについて理解する。

開講時期: 1年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
呼吸器系のはたらき (第3章)	4	呼吸器の構造と機能について理解する	1. 呼吸器の構造 2. 呼吸 1) 内呼吸・外呼吸 2) 呼吸器と呼吸運動 3) 呼吸気量 4) ガス交換とガス運搬 5) 肺の循環と血流 6) 呼吸運動の調整 7) 呼吸器系の病態生理	講義
血液のはたらき (3章)	6	血液の構造と機能を理解する	1. 血液 1) 血液の組織と機能 2) 赤血球 3) 白血球 4) 血小板 5) 血漿タンパク質など 6) 血液凝固 7) 血液型	講義
循環器系のはたらき (4章)	6	循環器系の構造と機能について理解する	1. 循環器系の構成 2. 心臓の構造 1) 心臓の位置と外形 2) 心臓の4つの部屋と4つの弁 3) 心臓壁 4) 心臓の血管と神経 3. 心臓の拍出機能 1) 心臓の興奮と伝播 2) 心電図 3) 心臓の収縮	講義

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
腎臓のはたらき (5章)	8	腎臓の構造と機能について理解する	4. 末梢循環器系の構造 1) 血管の構造 2) 肺循環の血管 3) 体循環の動脈 4) 体循環の静脈 5. 血液の循環調節 1) 血圧 2) 血液の循環 3) 血圧・血流量の調節 4) 微小循環 5) 循環器系の病態生理 6. リンパとリンパ管 1. 腎臓 1) 腎臓の構造と機能 2) 糸球体の構造と機能 3) 尿細管の構造と機能 4) 傍糸球体装置 2. 排尿路 1) 排尿路の構造 2) 尿の貯蔵と排尿 3. 体液の調整	講義
内部環境維持・調節のしくみ (6章)	6	内部環境維持・調節のしくみについて理解する	1. 自律神経 1) 自律神経の構造と機能 2. 内分泌系とホルモン 1) ホルモンの特徴、作用 2) ホルモンの構造と機序 3. 内分泌腺と内分泌細胞 1) 視床下部 2) 甲状腺と副甲状腺 3) 膵臓 4) 副腎 5) 性腺 4. ホルモン分泌	講義
評価	筆記試験			
テキスト	専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 人体の構造と機能Ⅲ 1単位(30時間)

※実務経験のある教員による授業(非常勤講師)

科目目標: 1. 神経系の構造と機能、情報の受容と処理について理解する。

2. 身体機能の防御と適応について理解する。

3. 生殖系の構造と機能、人体の発生について理解する。

開講時期: 1年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
神経系のはたらき (8章)	12	からだの神経系について理解する	1. 神経系の構造と機能 2. 脊髄と脳 3. 脊髄神経と脳神経 4. 運動機能と下行伝導路 5. 感覚機能 6. 体性感覚と上行伝導路 7. 痛み 8. 脳の統合機能	講義
眼の構造とはたらき (8章)	4	眼の構造と機能を理解する	1. 眼球の構造 2. 眼球付属器 3. 視覚	講義
耳の構造とはたらき (8章)	2	耳の構造と機能を理解する	1. 耳の構造、聴覚・平衡覚 2. 味覚と嗅覚	講義
身体機能の防御と適応 (9章)	4	皮膚の構造、恒常性維持のしくみについて理解する	1. 皮膚の構造と機能 1) 皮膚の構造 2) 皮膚の血管と神経 2. 恒常性維持のしくみ 1) 非特異的生体防御機構 2) 特異的生体防御機構 3) 関連臓器 3. 代謝と運動 1) 代謝について 4. 体温 1) 体温について 2) 体温の調整	講義

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
生殖・発生と 老化のしくみ (10章)	8	生殖機能と成 長と老化につ いて理解する	1. 男性生殖器 2. 女性生殖器 3. 乳腺 4. 女性の生殖機能 5. 受精卵と胎児の発生 6. 成長と老化	講義
評価	筆記試験			
テキスト	専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 形態機能学 1 単位 (15 時間)

※実務経験のある教員による授業 (専任教員)

科目目標：人体の構造と機能をもとに、人間の日常生活行動に関わる身体・生理機能のはたらきを理解する。

開講時期：1 年次後期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
日常生活行動 に関わる身体・ 生理機能	15	健康な人の日常生活行動に関わる身体・生理機能の働きを理解する	1. 日常生活行動 1) 食べる (1) 血糖測定 (2) カロリー計算 (3) 食べる動作に必要な関節可動域 (4) 食事動作時に作用する筋肉 2) トイレに行く (1) 尿の肉眼的所見 (2) 尿試験法 (3) トイレに行く動作に必要な関節可動域測定 3) 息をする (1) 体位・運動負荷による変化 4) 話す・見る・聞く 2. 恒常性維持のための調節機構 1) 生理学的指標の測定 2) 運動負荷による変化	講義
評価	ポストテスト 筆記試験			
テキスト	なし			

科目区分 専門基礎分野

科目名 病理学 1 単位 (15 時間)

※実務経験のある教員による授業 (非常勤講師)

科目目標：様々な疾病がもたらす身体内部の変化を理解する。

開講時期：1 年次後期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
病理学総論	15	病気の原因や成り立ちについて理解する 病理診断の実際を知ることができる	1. 病理学で学ぶこと 2. 細胞・組織の損傷と修復、炎症 3. 免疫 4. 移植と再生医療 5. 感染症 6. 循環障害 7. 代謝障害 8. 老化と死 9. 先天異常と遺伝性疾患 10. 腫瘍 11. 生活習慣と環境因子による生体の障害 12. 病理診断の実際	講義
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [1] 病理学 医学書院			

科目区分 専門基礎分野**科目名 生化学 1 単位 (30 時間)**

※実務経験のある教員による授業（非常勤講師）

科目目標：生体内でのエネルギー獲得のしくみと、恒常性維持に必要な代謝について理解する。

開講時期：1 年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
生体を構成する物質とその代謝	16	生体を構成する物質とその代謝について理解する	1. 生化学とは 2. 代謝の基礎 3. 酵素 4. ビタミン 5. ミネラル 6. 糖質 7. 脂質 8. タンパク質	講義
遺伝情報とその発現	4	核酸の役割と遺伝について理解する	1. 核酸の構造と機能 2. ヌクレオチドの代謝 3. 遺伝	講義
恒常性の維持	6	恒常性を維持するためのはたらきを理解する	1. 細胞間・細胞内情報伝達 2. 水・電解質	講義
生体防御（免疫）	4	生体防御機構について理解する	1. 血液 2. 免疫のしくみ	講義
評価	筆記試験			
テキスト	専門基礎分野 生化学 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 栄養学 1 単位 (15 時間)

※実務経験のある教員による授業 (非常勤講師)

科目目標: 生命を維持するために必要な栄養・食物・食品に関する知識を習得する。

開講時期: 1 年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
栄養素の種類 とはたらき	5	各栄養素のは たらきを理解 する	1. 栄養学の概要 2. 糖質 3. 脂質 4. タンパク質 5. ビタミン 6. ミネラル 7. 食物繊維 8. 水	講義
食物の消化と 栄養素の吸 収・代謝	4	消化と吸収・ 代謝について 理解する	1. 食物の消化 2. 栄養素の吸収 3. 血漿成分と栄養素 4. 栄養素の代謝 5. 吸収・代謝産物の排泄	講義
エネルギー代 謝	2	エネルギー代 謝について理 解する	1. 食品・体内のエネルギー 2. エネルギー消費と代謝の測定	講義
食事と食品	2	食事について の基礎的知識 を理解する	1. 食事摂取基準 2. 食品群とその分類 3. 食品に含まれる栄養素	講義
ライフステー ジと栄養	2	各ライフステー ジにおける 栄養の特徴を 理解する	1. 各期における栄養の特徴と 栄養摂取の要点	講義
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能 [3] 栄養学 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 臨床栄養 1 単位 (15 時間)

※実務経験のある教員による授業（非常勤講師）

科目目標：1. 栄養学の知識を基に食事療法・食事指導について理解する。
2. 食事療法・指導に必要な食材・食品の選択、調理の方法について理解する。

開講時期：2 年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
栄養食事療法の概要と実際	3	対象に応じた基本的な栄養法について理解する	1. 栄養食事療法の概要 2. 病院食の分類と特徴 3. 栄養補給法	講義
栄養ケア・マネジメント	2	栄養ケア・マネジメントの基本的な方法を理解する	1. チームアプローチと栄養ケア・マネジメント 2. 栄養スクリーニング 3. 栄養アセスメント 4. 栄養ケア計画 5. 栄養ケア計画の実施とモニタリング 6. 栄養ケア・マネジメントの評価	講義 GW
栄養状態の評価・判定	2	栄養状態の評価・判定するための方法を理解する	1. 栄養アセスメントの意義 2. 栄養アセスメントの方法 3. 栄養状態の総合評価	講義
対象に応じた栄養食事療法	2	対象に応じた基本的な栄養食事療法について理解する	1. 栄養管理の基本 2. 栄養食事療法の原則および実際と看護上の注意 1) 妊産婦・更年期女性 2) 小児 3) 高齢者 4) がん患者 5) 術前・術後	講義

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
症状をもつ患者の栄養食事療法	2	症状に応じた食事療法の原則を理解する	1. 食事療法の原則および実際と看護上の注意 1) ショック 2) 発熱・低体温 3) 脱水・浮腫 4) 摂食・嚥下障害	講義
疾患別栄養食事療法	4	疾患別の栄養食事療法の特徴を理解する	1. 食事療法の原則および実際と看護上の注意 1) 呼吸器疾患 2) 循環器疾患 3) 消化器疾患 4) 腎・泌尿器疾患 5) 栄養代謝性疾患 6) 血液疾患 7) アレルギー疾患 8) 精神・神経疾患 9) 熱傷・褥瘡	講義
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能 [3] 栄養学 医学書院 系統看護学講座 栄養食事療法 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 薬理学Ⅰ 1単位（15時間）

※実務経験のある教員による授業（非常勤講師）

科目目標：薬理学の基礎知識を習得する

開講時期：1年次後期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
疾病に対する 薬物療法	15	薬物療法の基礎、薬物の特徴、作用機序、人体への影響を理解する 医薬品の管理について理解する	1. 薬理学とはなにか 2. 薬物療法の目的 3. 薬理作用と作用機序 4. 薬物動態と薬効 5. 副作用と有害作用 6. 薬物相互作用 7. 薬物療法に影響を与える因子 8. 新薬の開発 9. 医薬品の管理 1) 医薬品と法規 2) 医薬品の安全な使用と管理 3) 処方箋と調剤	講義
評価	筆記試験			
テキスト	専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進 3			

科目区分 専門基礎分野

科目名 薬理学Ⅱ 1単位（30時間）

※実務経験のある教員による授業（非常勤講師）

科目目標：主な薬物の特徴、作用機序及び人体への影響について理解する。

開講時期：2年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
薬物の特徴と管理	30	主な薬物の特徴を理解する	1. 抗感染症薬 2. 抗癌薬 3. 強心薬、抗不整脈薬 4. 狭心症治療薬 5. 抗血栓薬 6. 降圧薬、昇圧薬 7. 利尿薬 8. 消化性潰瘍治療薬 9. 下剤 10. 抗アレルギー薬 11. 副腎皮質ステロイド薬 12. 糖尿病治療薬 13. 中枢神経作用薬 14. 麻薬 15. 消炎鎮痛薬	講義
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 微生物学 1 単位 (30 時間)

※実務経験のある教員による授業 (非常勤講師)

科目目標：病原微生物が人体に及ぼす影響および感染症の予防と対策について理解する。

開講時期：1 年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
微生物学総論	1 2	微生物学の基礎的知識を理解する	1. 微生物の基礎的知識 2. 主な感染性微生物 3. 感染源、感染経路、病原性の宿主の抵抗力 4. 感染経路と潜伏期間 5. 感染に対する生体防御機構 1) 自然免疫 2) 獲得免疫 6. 感染症の予防 7. 感染症の検査と治療 8. 感染症対策 1) 市中感染・院内感染 2) 日和見感染症 3) 薬剤耐性	講義
微生物学各論	1 8	主な病原微生物と感染症が人間に及ぼす影響を理解する	1. 主な病原微生物と感染症 1) 細菌 2) 真菌 3) 原虫、寄生虫 4) ウイルス 2. 感染経路と潜伏期間 3. 臨床症状、診断と検査	講義
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [4] 微生物学 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 診断・治療論 1 単位 (30 時間)

※実務経験のある教員による授業（非常勤講師）

科目目標：疾病の回復を促進するための代表的な検査や治療を理解する。

開講時期：1 年次後期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
検査	8	疾病の診断過程と臨床検査について理解する	1. 検査と診断 2. 臨床検査の種類 1) 検体検査（一般検査、血液検査、生化学検査、細菌検査、病理検査、輸血検査、その他） 2) 生理機能検査（循環機能検査、呼吸機能検査、脳神経筋機能検査、超音波検査） 3. 検査成績の見方・考え方 4. 検体の採取法とその取り扱い方	講義
放射線療法	10	放射線を用いた画像診断と、疾病の回復を促進するための放射線治療を理解する	1. 放射線の原理と基礎 2. 画像診断 (X線・CT・MRI・核医学検査) 3. 放射線療法 1) 放射線治療の原理 2) 放射線治療の種類 3) 放射線治療の実際 4. 放射線障害と放射線防御	講義
リハビリテーション	12	リハビリテーションの特徴と援助を理解する	1. リハビリテーションの特徴 1) 定義と概念 2) 機能障害と分類 (ICF) 2. 障害とリハビリテーション 1) 運動器系 2) 中枢神経系 3) 呼吸器・循環器系 4) 感覚器系	講義

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
			3. リハビリテーションの実際（演習） 1) 補助具・自助具の活用：松葉杖 2) 他動運動、筋力強化訓練 3) 摂食・嚥下機能訓練	講義 演習
評価	筆記試験			
テキスト	講師作成資料 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 病態治療論Ⅰ 1単位 (30 時間)

※実務経験のある教員による授業（非常勤講師）

科目目標：循環器、呼吸器系の代表的な疾患の病態生理と治療について理解する。

開講時期：1 年次後期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
呼吸器の疾患 と治療	10	呼吸器系に疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態及び治療を理解する	1. 呼吸器の病態と症状、検査・治療 1) 炎症性疾患（気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎、ウイルス感染） 2) 肺結核 3) 気管支喘息 4) 慢性閉塞性肺疾患（COPD） 5) 腫瘍（肺がん、中皮腫） 6) 気胸 7) 肺循環疾患（肺高血圧、肺塞栓症）	講義
	2		2. 検査と外科治療 1) 気管支鏡 2) 肺生検 3) 胸腔穿刺 4) 肺切除術：肺がん	講義
循環器の疾患 と治療	12	循環器系に疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態及び治療に関する基礎的知識を理解する	1. 循環器疾患の病態と症状、検査・治療 1) 虚血性心疾患 2) 不整脈 3) 心不全 4) 心タンポナーデ 5) 血圧異常 6) 心臓弁膜症 7) 先天性心疾患 8) 心筋症 9) 閉塞性動脈硬化症 10) 大動脈瘤・大動脈解離	講義

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
	6		11) 静脈瘤・静脈血栓症 12) ショック (心原性、出血性、血流分布異常性) 2. 検査と治療 1) 生理学的検査 (心電図など) 2) 心臓カテーテル法 3) 大動脈内バルーンパンピング (IABP) 4) 血栓溶解療法・血栓除去術 5) ペースメーカー埋込術 6) 経皮的冠動脈形成術 (PCI) 7) 冠動脈バイパス術 (CABG) 8) 弁置換術	講義
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 成人看護学 [2] 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [3] 循環器 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 病態治療論Ⅱ 1 単位 (30 時間)

※実務経験のある教員による授業（非常勤講師）

科目目標：1. 消化器系、甲状腺、乳腺の代表的な疾患の病態生理と治療について理解する。
2. 手術療法と麻酔について理解する。

開講時期：1 年次後期

单元名	時間数	单元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
消化器系	1 4	消化器系に疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態および治療を理解する	1. 上部消化管の疾患の病態と診断・治療 1) 炎症性疾患（逆流性食道炎、急性胃炎、慢性胃炎、ヘリコバクターピロリ感染症） 2) 潰瘍性疾患（胃潰瘍、十二指腸潰瘍） 3) 腫瘍（食道癌） 2. 下部消化管の疾患の病態と診断・治療 1) 炎症性疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病、虫垂炎、痔瘻） 2) イレウス 3) 腫瘍（大腸ポリープ、結腸癌） 4) 排便障害（便秘・下痢） 3. 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患の病態と診断・治療 1) 炎症性疾患（肝炎、胆管炎、膵炎） 2) 肝硬変 3) 腫瘍（肝癌、胆管癌、膵癌） 4) 脂肪肝、アルコール性肝炎	講義
	8		4. 外科的治療を必要とする主な疾患の病態と診断・治療 1) 手術療法の適応 2) 上部消化管の腫瘍（食道癌、胃癌） 3) 肝臓・胆嚢疾患（肝臓癌、胆石症） 4) 下部消化管および腹膜疾患（虫垂炎、腹膜炎、鼠経ヘルニア、結腸癌、直腸癌、肛門疾患）	講義

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
麻酔	2	甲状腺・乳腺に疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態および治療を理解する	5. 甲状腺疾患の病態と診断・治療 1) 甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症、甲状腺炎 2) 副甲状腺疾患 3) 腫瘍（下垂体腫瘍、甲状腺がん） 6. 乳腺の疾患の病態と診断・治療 1) 乳がん 2) 乳腺炎、乳腺症	講義
	6	麻酔の原理と管理について理解する	1. 麻酔の種類 2. 麻酔導入から覚醒までの管理 1) 麻酔導入時の管理 2) 術中の管理（モニタリング含む） 3) 麻酔覚醒時の管理 3. 麻酔の効果（ペインクリニック）と二次的障害	講義
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 成人看護学〔5〕消化器 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔6〕内分泌・代謝 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔9〕女性生殖器 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 病態治療論Ⅲ 1単位 (30 時間)

※実務経験のある教員による授業 (非常勤講師)

科目目標：腎泌尿器系、内分泌系、女性生殖器の代表的な疾患の病態生理と治療を理解する。

開講時期：2 年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
腎・泌尿器系	10	腎・泌尿器系に疾患を持つ人のアセスメントに必要な病態および治療を理解する	1. 腎・泌尿器系の疾患の病態と診断・治療 1) 腎炎、慢性腎臓病 2) 炎症性疾患 (腎盂腎炎、膀胱炎) 3) 腎不全【透析室見学4日含む】 4) ネフローゼ症候群	講義
	6		2. 泌尿器系・生殖器系の疾患の病態と診断・治療【外科】 1) 腫瘍 (腎がん、尿管がん、膀胱がん、前立腺がん) 2) 尿路結石 3) 排尿障害 (過活動膀胱、腹圧性尿失禁、夜尿症) 4) 男性生殖器の疾患 (前立腺炎、前立腺肥大)	講義
内分泌・代謝系	8	内分泌・代謝系の疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態および治療を理解する	1. 内分泌疾患の病態と診断・治療 1) 視床下部一下垂体の疾患 (尿崩症・先天性巨大症) 2) 副腎皮質・髄質疾患 (アジソン病・クッシング症候群・アルドステロン症) 2. 代謝異常の疾患の病態と診断・治療 1) メタボリックシンドローム 肥満症 2) 糖尿病 3) 脂質異常症 4) 痛風 5) ビタミン欠乏症	講義

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
女性生殖器	6	女性生殖器の疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態および治療を理解する	1. 女性生殖器の疾患の病態と診断・治療 1) 女性生殖器の疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫） 2) 腫瘍（子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がん） 3) 生殖機能障害（月経異常、更年期障害）	講義
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 成人看護学 [8] 腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [6] 内分泌・代謝 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [9] 女性生殖器 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 病態治療論Ⅳ 1 単位 (30 時間)

※実務経験のある教員による授業 (非常勤講師)

科目目標：運動器、血液、自己免疫、歯・口腔の代表的な疾患の病態生理と治療を理解する。

開講時期：2 年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
運動器	1 4	運動器系に疾患を持つ対象のアセスメントに必要な疾患及び治療を理解する	1. 運動器の疾患 1) 先天性疾患 (先天性股関節脱臼) 2) 骨粗鬆症 3) 骨折・脱臼 4) 炎症性疾患 (髄膜炎・関節リウマチ) 5) 腫瘍 (骨肉腫) 6) 脊椎疾患 (脊椎腫瘍・脊髄損傷) 7) 変形性関節症 8) 腰痛症 (椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症) 9) 筋・腱・靱帯の損傷 (半月板損傷) 2. 運動器系の疾患を診断する 主な検査 1) X 線検査 2) RI 3) 筋電図 4) 視診・知覚検査 5) 関節鏡 3. 運動器系の主な治療 1) 手術療法 2) リハビリテーション 3) 装具 (牽引・ギプス固定) 4) 義肢	講義
血液・造血器	1 0	血液・造血器に疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態及び治療を理解する	1. 血液・造血器の疾患 1) 白血球疾患 (白血球減少症、白血病) 2) 赤血球疾患 (貧血) 3) リンパ網内系疾患 (悪性リンパ腫) 4) 異常蛋白血症 (多発性骨髄腫)	講義

自己免疫	4	自己免疫系の疾患を持つ人のアセスメントに必要な病態及び治療に関する基礎的知識を理解する	5) 出血性疾患 (血栓性血小板減少性紫斑病、 免疫性血小板減少性紫斑病) 6) 骨髄疾患(骨髄異形成症候群) 2. 検査、治療 1) 骨髄穿刺・生検 2) リンパ節生検 3) 血液検査(末梢血、出血傾向) 4) 化学療法 5) 造血幹細胞移植 6) 輸血療法 7) 遺伝子治療	講義
歯・口腔	2	歯・口腔系に疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態及び治療を理解する	1. 歯・口腔の疾患 1) 齲歯 2) 歯周病 2. 検査と治療 1) 歯科補填治療 2) 歯周治療	講義
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 成人看護学 [10] 運動器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [4] 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [11] アレルギー 膠原病 感染症 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [15] 歯・口腔 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 病態治療論Ⅴ 1単位(30時間)

※実務経験のある教員による授業(非常勤講師)

科目目標: 脳神経系・感覚器の代表的な疾患の病態生理と治療を理解する。

開講時期: 2年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
脳神経系	10	脳神経系に疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態および治療を理解する	1. 脳神経系の疾患の病態・症状 1) 脳血管障害 (脳梗塞、脳内出血、脳動脈瘤、くも膜下出血、もやもや病) 2) 脳腫瘍 3) 頭部外傷 4) 感染症(髄膜炎・脳炎) 5) 頭蓋内圧亢進症 2. 主な検査・治療 1) 脳血管造影 2) CT・MRI 3) 腰椎穿刺 4) 神経学的検査 5) 血管内治療 (血栓溶解法、動脈瘤塞栓術) 6) 開頭術・穿頭術 7) 血管バイパス術 8) 脳室ドレナージ 9) V-Pシャント術 10) リハビリテーション	講義
	8 (6)		3. 脳神経系の疾患の病態・症状と検査・治療 1) 脳神経変性・脱髄疾患(パーキンソン病、多発性硬化症) 2) 神経・筋疾患(筋萎縮性側索硬化症、筋ジストロフィー、重症筋無力症) 3) 機能性疾患(てんかん) 4) 認知症(アルツハイマー型、脳血管性、レビー小体型)	講義

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
感覚器の疾患と治療	6	耳鼻咽喉に疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態および治療を理解する	5) 末梢神経障害（ギラン・バレー症候群、自律神経失調症など） 1. 耳鼻咽喉の疾患 1) 副鼻腔炎 2) 上顎洞炎 3) メニエール病 4) 中耳炎 5) 突発性難聴 6) 咽頭・喉頭がん 2. 検査と治療 1) オージオメーター検査 2) 鼻腔内視鏡検査 3) 鼓膜形成術	講義
	4	皮膚に疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態および治療を理解する	1. 皮膚の疾患 1) 熱傷 2) 湿疹 3) アトピー性皮膚炎 4) 带状疱疹 5) 疥癬 2. 検査と治療 1) パッチテスト 2) 病理組織法検査	講義
	4	眼に疾患を持つ対象のアセスメントに必要な病態および治療を理解する	1. 視機能の障害と疾患 1) 視力障害、視力低下、視野欠損 2) 結膜炎 3) 白内障 4) 緑内障 5) 網膜剥離 6) 糖尿病性網膜症	講義

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
			2. 検査と治療 1) 眼底検査 2) 眼底光凝固療法 3) 網膜剥離治療 4) 人工眼内レンズ挿入術	
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 成人看護学 [7] 脳・神経 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [12] 皮膚 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [13] 眼 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 生命倫理 1単位(15時間)

※実務経験のある教員による授業(非常勤講師)

科目目標: 医療を取り巻く倫理的な諸問題を通して人間としての考え方・生き方を学ぶ。

開講時期: 3年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業記録
医の倫理と生命倫理	15	医の倫理と生命倫理について考える	1. 生命倫理とは何か 2. 医の倫理 3. 生殖医療の現状と問題点 4. クローン技術 5. 脳死移植と生命倫理 6. 終末期における生命倫理	講義
評価	筆記試験			
テキスト	講師作成資料			

科目区分 専門基礎分野

科目名 保健医療論 1 単位 (15 時間)

※実務経験のある教員による授業 (非常勤講師)

科目目標：1. 医学の歴史と発展を理解し医療のあり方を理解する。
2. 政策医療の特徴と国立病院機構が担う役割を理解する。

開講時期：1 年次前期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
医学と医学の歴史	4	医学の歴史と変遷を学び医学の考え方を理解する	1. 医学の定義 2. 医の倫理、生命倫理 3. 古代の医学 4. 中世の医学 5. 近世の医学 6. 20 世紀以降の医学	講義
健康と病気	4	健康と病気およびその診断・治療について理解する	1. 病理学とは 2. 病気の原因 3. 病気による身体の変化 4. 病気の診断 5. 病気の治療とリハビリテーション 6. 予防医学	講義
医療提供システム	4	我が国の医療システムについて理解する	1. 我が国の医療提供システムとその役割 2. 自由診療・保険診療 3. 救急医療 4. 我が国における医療上の問題点	講義
政策医療	3	政策医療の特徴及び国立病院機構の役割を理解する	1. 国立病院機構の役割・機能 2. 国立病院機構の事業・運営 3. 5 疾病・5 事業 4. セーフティネット系・その他のネットワーク	講義
評価	筆記試験			
テキスト	医療概論 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 公衆衛生学 1 単位 (30 時間)

※実務経験のある教員による授業（非常勤講師）

科目目標：人々の健康を守るための組織的な保健活動を理解する。

開講時期：1 年次後期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
健康と 公衆衛生	10	健康と公衆衛生の基本的な内容について理解する	1. 健康と公衆衛生 1) 公衆衛生の概念 2) 健康と環境 3) 疫学的方法による健康の理解 2. 健康指標と予防 1) 健康に関連した指標 2) 感染症法とその予防対策 3. 生活環境の保全 1) 地球環境 2) 住環境 3) 食品管理および家庭用品 4) 廃棄物	講義
健康支援に向けた保健活動	20	健康支援に向けた保健活動について理解する	1. 衛生行政と地域保健 2. 学校保健 3. 成人保健 4. 高齢者保健 5. 環境保健 6. 産業保健	講義
評価	筆記試験			
テキスト	専門基礎分野 公衆衛生学 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会			

科目区分 専門基礎分野

科目名 社会保障論 2単位(30時間)

※実務経験のある教員による授業(非常勤講師)

科目目標: 1. 社会保障の概念と基本的な制度について理解する。

2. 生活者の生活問題に対する社会福祉制度と今後の課題について理解する。

開講時期: 3年次前期

单元名	時間数	单元目標	内 容	授業形態
社会保障の 理念	6	社会保障の理 念について理 解する	1. 社会保障の理念 1) 社会保障の概念・目的・機能 2) 社会保障の体系 (1) 社会保険 (2) 公的扶助 (3) 社会福祉 (4) 公衆衛生および医療 3) 社会保障の内容 (1) 所得保障 (2) 医療保障 (3) 社会福祉サービス 2. 現代社会の変化と社会保障・ 社会福祉の動向 1) 現代社会の変化 2) 社会保障・社会福祉の動向	講義
社会保険制度	14	社会保障の基 本的な制度に ついて理解す る	1. 社会保障制度 1) 社会保障制度の変遷 2) 医療保険制度 3) 介護保険制度 4) 年金制度 5) その他の社会保険制度 (1) 雇用保険 (2) 労働者災害補償制度	講義
社会福祉に関 する法や施策	10	社会福祉に関 する法や施策 を理解する	1. 社会福祉の理念と変遷 2. 社会福祉に関わる機関と機能 1) 福祉事務所 2) 児童相談所 3) 更正相談所	講義

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
			4) 社会福祉施設 5) 在宅サービスの実施機関 3. 生活保護に関する方や施策 4. 障害者（児）に関する法や施策 5. 児童に関する法や施策 6. 高齢者に関する法や施策 7. DV 防止法 8. 依存症対策	
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度〔3〕 社会保障・社会福祉 医学書院			

科目区分 専門基礎分野

科目名 関係法規 1 単位 (15 時間)

※実務経験のある教員による授業（非常勤講師・専任教員）

科目目標：1. 法の概念を理解する。
2. 看護職に必要な基本的な法律について理解する。

開講時期：3 年次後期

単元名	時間数	単元目標	内 容	授業形態
法の概念	2	法の知識と法令、厚生行政について理解する	1. 法の概念 2. 法の種類 3. 厚生労働行政のしくみ	講義
看護職に必要な法令	4	看護関連法規について理解する	1. 保健師助産師看護師法 2. 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義
	4	医療に関する法規について理解する	1. 医療法 2. 医療関係資格法	講義
	3	薬務関係法規について理解する	1. 薬事一般に関する法律 2. 麻薬・毒物などの法	講義
	2	労働に関する法規について理解する	1. 労働法	講義
評価	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度 [4] 看護関係法令 医学書院			